

第2回 北海道マスタース札幌記録会 大会要項

本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会として開催し、マスタース陸上における混成競技「投擲5種」を通じて、参加選手の記録向上と相互の親睦を図る。また、効率的かつ安全な競技運営のモデルケースを確立することを目的とする。

1. 主催

北海道マスタース陸上競技連盟
(札幌支部事務局 大会総括・技術代表 : 渡辺 英樹)

2. 後援

一般財団法人北海道陸上競技協会

3. 主管

一般財団法人札幌陸上競技協会

4. 期日

2026年9月5日(土)
選手受付: 8:00~8:40
競技開始: 9:00
競技終了: 15:00(予定)

5. 場所

厚別公園競技場補助競技場(第3種公認)
〒004-0033 北海道札幌市厚別区上野幌3条1丁目2番1号

6. 競技種目(JAAF公認・混成競技)

男子・女子・各年齢区分「投擲5種」
(実施種目: ハンマー投、砲丸投、円盤投、やり投、重量投)

※トラック競技、跳躍競技、個別の投擲競技は行いません。

7. 競技規則

(1) 2026年度日本陸上競技連盟競技規則(混成競技規定およびマスタース特例含む)、並びに日本マスタース陸上競技規則、および本大会規定による。

【競技順序に関する特例措置(公認適合)】

本大会は、15:30完全撤収という施設利用制限、および単一ケージ運用における安全管理上のやむを得ない事由に基づき、技術代表の承認のもと、競技規則第200条(混成競技の実施順序)の特例措置として、**変則的な競技順序およびタイムテーブルを適用する。**本措置は事前に技術代表および審判長により承認されており、記録の公認に影響を及ぼさない。

(2) 本大会は日本陸上競技連盟および日本マスタース陸上競技連合の公認競技会であり、達成された記録は公認記録として認められます。

- (3) 用器具について : すべて主催者が用意した公認用器具を使用します。選手のマイ器具（用器具の持参）は受け付けません。
- (4) 記録証について : 本大会では記録証の即日発行および後日郵送は行いません。
（公式記録は翌日、連盟ホームページ等に掲載します）

8. 競技方法および進行規定

(1) 参加選手・グループ編成

選手総数は 27 名とする。

- 前半（第 1～第 3 セッション）： 27 名を混成競技の組分けとして 1 グループ 9 名×3 グループ（A・B・C 班）に編成し、ハンマー投・砲丸投・やり投の 3 種目をそれぞれのエリアで同時展開・ローテーションする。
- 後半（第 4～第 5 セッション）： 27 名全員が 1 つの大きな組（1 グループ）に合流し、単一ケージサークルにて、円盤投、および最終種目である重量投を順次実施する。

(2) 試技数および練習投擲の制限

- 本大会は、タイムテーブルおよび限られたエリアでの安全管理の都合上、競技場内（試合ピット・サークル内）での練習投擲は行わない。各自、事前に用意されたウォーミングアップエリア等で準備を完了させること。
- 混成競技の規定に基づき、各種目とも試技数は 3 回とする。

(3) 試技時間の厳格化（JAAF 規則第 180 条の適用）

- 試技時間は、競技者がコールされてから「60 秒（1 分）以内」とする。
- 混成競技をスムーズに進行させるため、選手は常に次投者（デッキアップ）のコールに留意し、前投者の試技が終了した時点で速やかにサークル付近にて待機すること。

9. タイムスケジュール

時間帯	セッション	ケージ内サークル (光波計 A)	やり投ピット (光波計 B)	砲丸投サークル (テープ計測)
09:00～09:40	第 1 セッション	ハンマー投 (A 班・9 名)	やり投 (B 班・9 名)	砲丸投 (C 班・9 名)
09:40～10:20	第 2 セッション	ハンマー投 (C 班・9 名)	やり投 (A 班・9 名)	砲丸投 (B 班・9 名)
10:20～11:00	第 3 セッション	ハンマー投 (B 班・9 名)	やり投 (C 班・9 名)	砲丸投 (A 班・9 名)
11:00～13:00	第 4 セッション	円盤投 (全員・27 名)	- (空き) -	- (空き) -
13:00～15:00	第 5 セッション	重量投 (全員・27 名)	- (空き) -	- (空き) -

10. 招集・安全管理および動線制限

(1) 総括招集（一括招集）

- 混成競技開始にあたり、全選手の招集は競技開始 20 分前までに大会本部横の「総括招集所」にて一括して行う。

(2) 移動動線および立ち入り禁止区域

- インフィールド内は投擲器材が飛び交うため極めて危険である。選手・関係者は指定された「外周安全通路（トラック5レーンより外側）」のみを移動動線として使用し、許可なくセクター内に立ち入ることを固く禁じる。

11. 審判・計測の厳格性と途中交代

(1) 投擲審判長の統括

- 本大会における投擲審判長（混成競技チーフ referee）は、全投擲エリアを統括する。

(2) 審判員・補助員の途中交代（ローテーション）

- 安全管理および審判員の休憩確保のため、第4セッションと第5セッションの合間（13:00）に審判員の交代を行う。なお、ジャッジの基準および公平性は全時間帯において均一に維持される。

(3) 電子距離計測（光波計）のキャリブレーション

- 電子距離計測を使用する種目において審判員の交代が行われる場合は、交代時に機器の動作確認および再キャリブレーションを厳格に行い、計測の連続性と正確性を担保する。

12. 出場資格

- (1) 2026年度日本マスターズ陸上競技連合および日本陸上競技連盟の登録会員であること。
- (2) 健康に異常がなく、本大会の競技特性および安全管理を理解し、自己の責任において参加できる者。

13. 定員

エントリー先着 27名

14. 参加料（エントリー料）

1名：7,000円

※入金後のキャンセル、および当日欠席の場合の返金はいたしません。

15. エントリー方法および参加料支払いの流れ

(1) 申込方法

当連盟ホームページの「お問い合わせ」より、以下の手順にて申込みください。

- ①お問い合わせ種目： 「その他お問い合わせ」を選択してください。
- ②お名前、フリガナ、郵便番号、都道府県、住所、電話番号、メールアドレスを入力してください。FAXは空欄で構いません。スパム対策は日本としてください。
- ③お問い合わせ内容に以下の内容を入力してください。
第2回北海道マスターズ札幌記録会 投擲5種申込
登録番号（都道府県番号ーアスリートビブス番号 例 01-1678）
陸連登録番号（11桁）
生年月日
2026年9月5日時点の満年齢
懇親会参加出席または懇親会欠席
- ④個人情報の取扱いについて、同意するにシ点を入力の上、送信してください。

(2) 先着の確定

送信日時の到着順に受付を行い、定員内に入った選手へ事務局より「エントリー確定および参加料振込先のご案内」のeメールを通知いたします。

(3) 参加料支払い

通知メールに記載された指定口座へ、通知受領後5日以内（または指定期日まで）に参加料をお支払いください。

期日までに入金を確認できない場合は、次点の方へ権利が移ります。

16. 熱中症対策および競技中断・中止基準（WBGT 指針）

本大会は日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドライン」に基づき、競技場内にてWBGT（暑さ指数）を定期的に測定します。

(1) WBGT 31℃以上（危険）の場合：原則として競技を中止、または一時中断します。

(2) WBGT 28℃以上 31℃未満（厳重警戒）の場合：競技の進行を一時中断して一斉給水タイムを設けるなど、安全を最優先した措置をとります。

(3) 対策：会場内に選手・審判用の水分を用意しますが、選手各自でも十分な水分・塩分の持参、帽子着用等の防暑対策をお願いします。なお、更衣室内は冷房を作動いたします。

17. 競技注意事項（抜粋）

タイムテーブルと昼食

全体の競技をストップしての昼休憩は設けません。

各自の競技順（グループ）を確認の上、空き時間に「適宜」食事・休憩をお取りください。

18. 希望者懇親会のご案内

競技終了後、選手・審判員の親睦を深めるための懇親会を開催いたします。

(1) 時間：18:00～（予定）

(2) 場所：札幌地下鉄大通駅周辺の会場（決定次第、eメールにて通知いたします。）

(3) 会費：4,000円程度（当日、懇親会受付にて徴収いたします）

19. 問い合わせ先

北海道陸上競技連盟ホームページお問い合わせフォームより、問合せをお願いします。

以上